

学び続け、役に立てる人に！

～東日本大震災追悼集会～

3月11日（金）、多目的ホールにて全校生が一堂に会し、追悼集会を行いました。3名の代表児童がメッセージを読み上げましたので、その一部を紹介します。

4年 今泉 陽翔

5年前、5歳でした。とても恐かったことを覚えています。その夜、ビニールハウスの中でみんなで過ごし、いろいろなところに避難しました。2年前、都路に戻り、今は家族みんなで幸せに過ごしています。でも、大切な家や家族をなくした人もいます。心の傷が早く治ればいいなと思います。みんなが安心して笑顔で過ごせる福島になってほしいです。



5年 古河 愛琴

まわりの友だちが泣いていて、とても恐かったことを覚えています。避難先のアパート生活は、外で遊べないし、少しでもうるさくすると叱られました。都路に帰ってきてからの生活は、何だか安心した気持ちとなつかしい気持ちでいっぱいでした。初めて古道小の校舎に入れてうれしかったです。都路が好きです。地域のみなさんも優しいし、自分の家でみんなと生活できるのが一番です。震災の経験は、絶対に忘れません。



6年 吉田 美桜

復興のゴールについて考えてみた。元の状態にすることだけではなく、新しい町づくりこそが復興のスタートだと思う。だとすれば、よりよい町づくりにゴールがないように、復興にもゴールはないのかもしれない。それでも私たちの町は見えないゴールに向かって一歩一歩進んでいる。私もボランティアをしたり、イベントに参加したりしながら、新しい町づくりに協力していきたい。



校長先生からは、「震災から学んだこと、例えば、震災の恐ろしさ、備えることの大切さ、思いやりや協力し合うことなど」、また、「みなさんには、学び舎がある。応援してくれる人がいる。自分のふるさとがある。学び続けよう。そして、心をみがき、力をつけ、役に立つ人になろう。それが、必ず自分の幸せにもつながるはずです。」などの話がありました。午後2時46分には、全員で黙祷を捧げました。



世界を知り、自分を知る！

～5年道徳「国際理解と親善」、6年社会科「世界の中の日本の役割」～

青年海外協力隊などで活躍していた東郷知沙さんをお招きして授業を行いました。東郷さんは、現在、福島復興局で仕事をされていますが、中東や欧米など多数の国を訪問されているとともに、アフリカのガーナでは2年間ほど仕事をしました。

12月21日（月）、5年生の道徳「国際理解と親善の心を育む」というねらいで、ガーナの生活や文化について教えていただきました。素手で食事をしたり、お葬式で踊ったりするなどの日本文化との違いとともに、家族や友だちを大切にすることや毎日の入浴や清掃、将来の夢を持って勉強しているという同じこともたくさんあることに気づきました。

3月14日（月）、6年生の社会科では、青年海外協力隊員としての具体的な活動体験や現地の人々の様子などについて話を伺いました。子どもたちは、「隊員になるにはいろいろな訓練が必要なんだ。」、「その人に合った棺を使うことに驚いた。」、「日本は平和でいい国だ。」、「日本人は、貧しい国の人を幸せにするために指導してすごい。」などの感想を書いていました。東郷さんは、「調べて理解することとともに、自分で見たり、感じたり、考えたりすることも大切にしてほしい。」と話していました。世界の人々のために頑張っている人がいることや日本の役割などについて理解できたようです。



学校が楽しく、勉強ができるようになりました！

お世話になった先生方の『感謝の集い』の紹介、前号に続く第2弾です。子どもたちが書いた「感謝のメッセージ」に目を通しながら、その役割が子どもたちの成長にどれほど大切であるかを改めて感じました。先生方への敬意と感謝を込めながら、その一端を紹介いたします。

ALT（外国語指導助手） ローガン先生、ありがとうございました。3/16（水）

「先生のおかげで英語がよくわかりました。」
「英語やさいころゲームを教えてくださいありがとうございました。」
「きれいな英語が好きになりました。くだものや色を英語で覚えることができました。」
「ゲームが楽しかったです。英語が上手になっていくのがとってもうれしかったです。来年も来てくれたらうれしいです。」
「発音が苦手でしたが、少し楽しくなりました。わかりやすくゆっくり言ってもらったので、言い方がよくわかりました。苦手だった英語が得意になりました。『パチパチ7』が一番楽しかったです。」
「『パチパチ7』や『クリスクロス』など、楽しく英語ができました。中学校に入っても英語を頑張ります。」



「感謝の集い」の後の楽しい給食です。

コア・ティーチャー 星 克洋 先生、ありがとうございました。3/17（木）

「先生のおかげで算数をもっと好きになりました。」
「すらすら解けるようになりました。かけざんの筆算がわかるようになりました。」
「4年生になっても星先生と算数をやりたいです。」
「丸付けをしたり、わからないところを教えてくださいありがとうございました。」
「いつもいろいろな問題を用意してくれてありがとうございました。」
「分かりにくかった単位量あたりの学習もできるようになりました。」
「おもしろい問題や難しい問題まで、分かりやすく教えていただきました。」
「最初、算数があると、朝からいやな気持ちになっていました。分かりやすく理由や解説してもらったら、問題がすらすら解けました。」
「好きでなかった算数が得意になりました。」
「来年も先生と勉強したいです。」
「算数の面白さが分かりました。」
「中学校になっても困ることがないなと思いました。中学校でも数学を頑張ります。」
「算数が何の役に立つのかが分かりました。」
「疑問に一つ一つ答えていただき、とてもよく分かりました。」



ご厚情（義援金）を賜り、ありがとうございました！

東日本大震災追悼集会を開催した3月11日（金）、現金書留にて義援金3万円が学校へ届きました。同封されたお手紙には、「岡山のお節介老人」と記されていました。

内容の一部をご紹介しますとともに、ご厚情を有り難く受け止め、子どもたちのよりよい教育活動推進のために活用してまいります。

子どもたちには、全国に応援してくれる人たちがいることを心に留め、しっかりと学び続けようと伝えました。本当にありがとうございました。

今から5年前の悪夢の出来事は、当時の実況報道にて今でもはっきりと強烈に脳裏に焼き付いておりますと同時に、折に触れ皆様のご心痛を覚え、この小さな胸を痛めている一人でもあります。

・・・御校の生徒の皆様には、様々な思いの中にあって前向きに元気に励んでおられる姿を思い、僅かではありますが、何らかのお役に立てる事ならと一念発起し、ささやかな気持ちではありますが同封いたしました。どうか生徒の皆様のために図書や遊具等の購入資金の一部として、活用いただければ幸いです・・・